

下黒瀬小学校  
第6学年 学年通信

令和5年11月7日  
第14号

## 命の授業を行いました！

11月1日に、命の授業を道徳科の授業で行いました。動物の命も含む自他の命を尊重し、力強く生きていこうとする態度を育てるために、「命の重さはみな同じ」という話をもとに命について考えました。最初に見た動画には、人間の都合で過ごす未来が変わってしまう犬や猫の現状が描かれていました。映像を見て意見を交流する中で、「犬も人も命は一つしかないし、同じ命のはずなのにそうではない現実に対して、私達にできることは何だろうか」というテーマにつながり話が進んでいきました。「命の重さはみな同じ」の話に出てくる、獣医さんの安楽死という決断の裏にある思いを考えたり、保護施設の代表、甲斐さんの「助けてほしい」という強い思いに触れたりすることを通して、テーマについて深く考えていきました。

テーマに対する子ども達の思いです。

私は、どんな動物にも命はあり、大切なものだから命は大切にしないといけないけれど、私たちが食べているものも生き物だから殺されて食べている。そこで食べ物を残してしまったら、命を無駄にしてしまっている。生き物に命をもらっているから、残すともったいない。

生き物の命をいただいて生きているから、ご飯を食べる時の「いただきます」「ごちそうさま」を大切にすること。

人間は命を頂いている。生き物の命を無駄にしないことが大切。

ペットを飼うのであれば、最後まで責任をもって飼うことが大切だと思いました。飼うと決めるまでも、責任をもって育てられるかを考えて決めることが大切だと思います。

今動物を飼っていたり、飼おうとしている動物を最後まで責任をもって育てること。そして、動物についての現状について知り、伝えていくことが私達にできる。

ペットショップに行った時、「今、ほしいうのは小さくてかわいいから。大きくなってかわいくなったら世話をしなくなって責任をもてない。」と言われたことを思い出した。今、思えばその通りだと思った。かわいさだけで飼うといずれお世話がめんどくさくなることもあるかもしれないから、考え直したいと思った。



## アメリカ大使館とつながって、学習しました！

10月30日の社会科の時間に、文部科学省の特別講座「GIGAは国境を越える！～米国大使館とつながりたい！～」というアメリカ大使館からの生ライブ配信を視聴して、アメリカについて学びました。講師は、米国大使館広報部文化・スポーツ交流担当官補佐のダービン・ユーンさんでした。アメリカの地理や文化の紹介、紹介内容を基にした視聴者参加型のクイズもあり、とても楽しく学ぶことができました。普段なかなかできない体験をすることができ、とても有意義な時間でした。

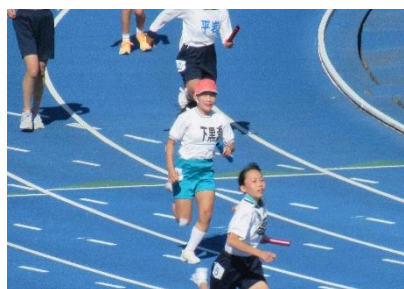




## 陸上記録会～下黒瀬小学校の代表として～

10月21日(土)に東広島運動公園で行われた、東広島市陸上記録会に6年生から8名の選手が出場しました。これまで練習してきた力を出し、自己ベストを目指して全力で競技に参加しました。競技に臨む姿勢がさすがでした。また、待っている時、しっかり応援したり、他の学校の人たちの競技をしっかり見たりと、代表選手として態度もとても立派でした。

今回の陸上記録会の練習に、14名の6年生が参加しました。陸上に興味をもって、チャレンジしてみようという気持ちを持ってきている人がこんなにたくさんいたことがとても嬉しいです。代表選手はもちろん、陸上練習に参加したみなさん、参加はしなかったけれど、参加している仲間にあたたかい応援の声かけをしてくれていたみなさんに拍手です！



## 黒いTシャツのご協力ありがとうございました！

学習発表会に向けて大詰めを迎えている「黒瀬の四季」の練習に関わって、黒いTシャツの準備のご協力ありがとうございました。子ども達は、毎日の練習で、できるようになったこと、さらにより演奏にするために改善すべきところを考えて、自分たちで声をかけあい最高の作品を創り上げています。聞かたびにどんどん演奏がよくなっており、おうちの方に見ていただく日がとても楽しみです。11月11日の学習発表会をお楽しみに！涙をふくハンカチをお忘れなく！！本当に持っておいた方がいいです！！

